

広島県における気候変動の影響

ひろしま気候変動適応センター

(広島県立総合技術研究所保健環境センター)

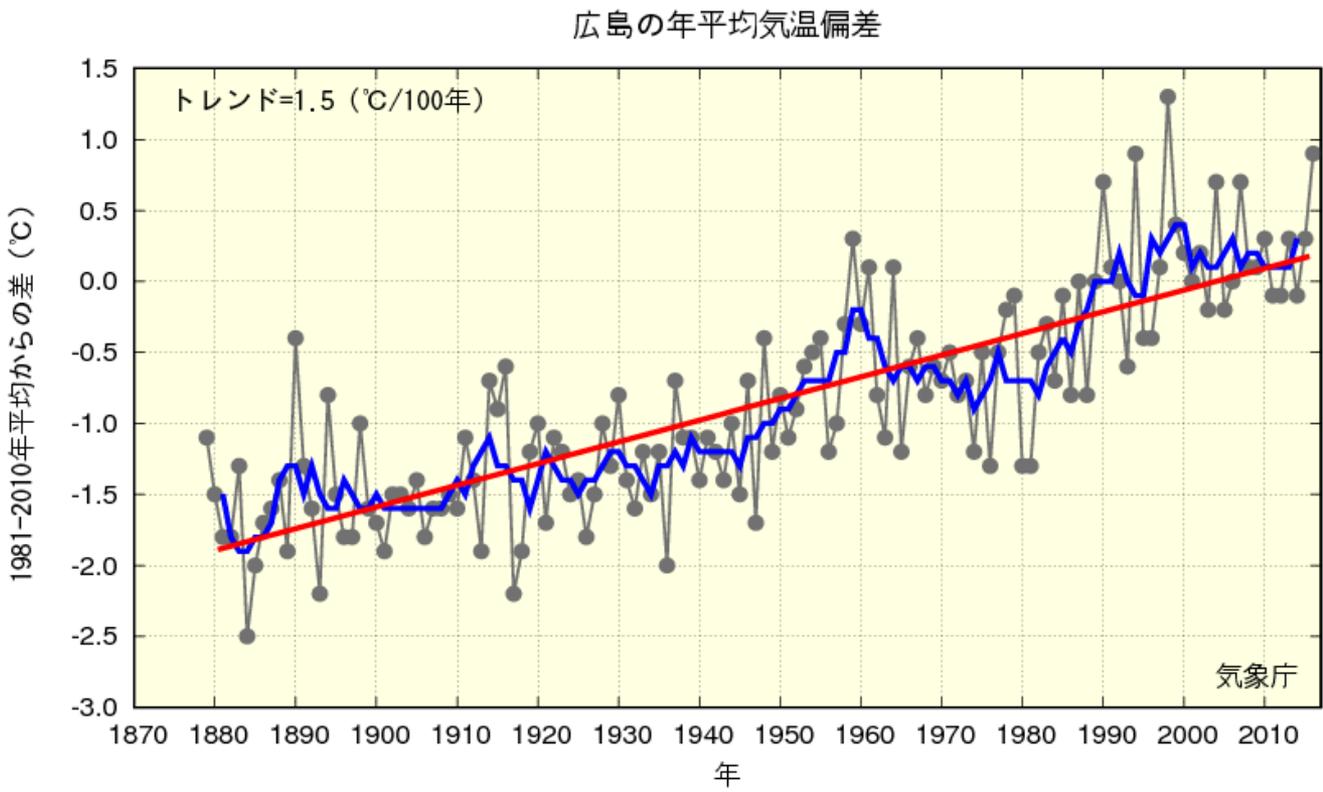
ひろしま気候変動適応センター

気候変動適応センターでは、
県内の気象、海象、自然への影響、食料への影響、健康影響、
適応策事例、気候変動予測などの情報を収集している

昨年度に収集した情報を御紹介させていただきます

これらの情報はセンターのホームページで公開予定

広島県の気温変化



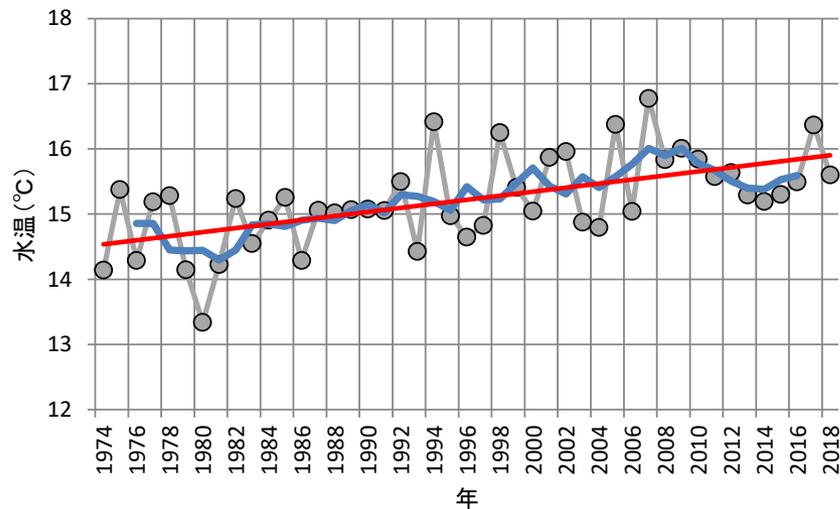
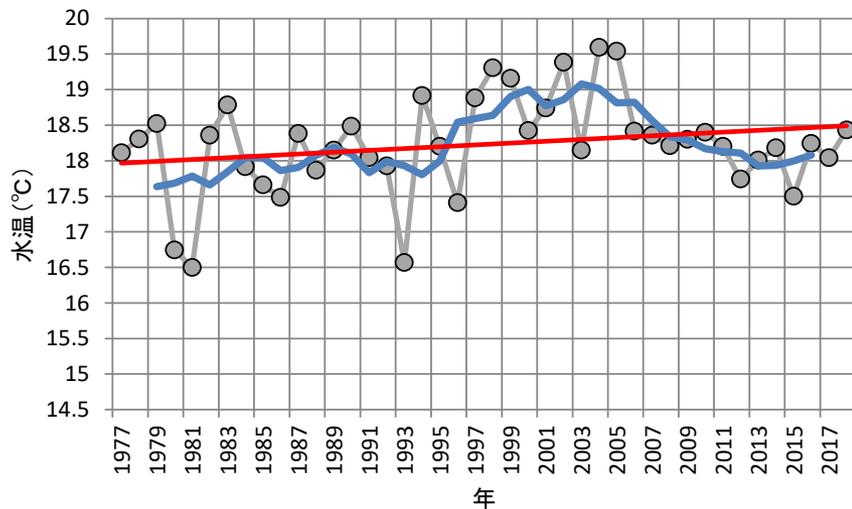
(出典:気候変動監視レポート2018, 気象庁)

図 広島県の年平均気温平年差

広島県の年平均気温は、100年あたり1.5°Cの割合で上昇している

これは日本の平均値(1.21°C/100年)よりも高い値である

広島県の海水温と河川水温



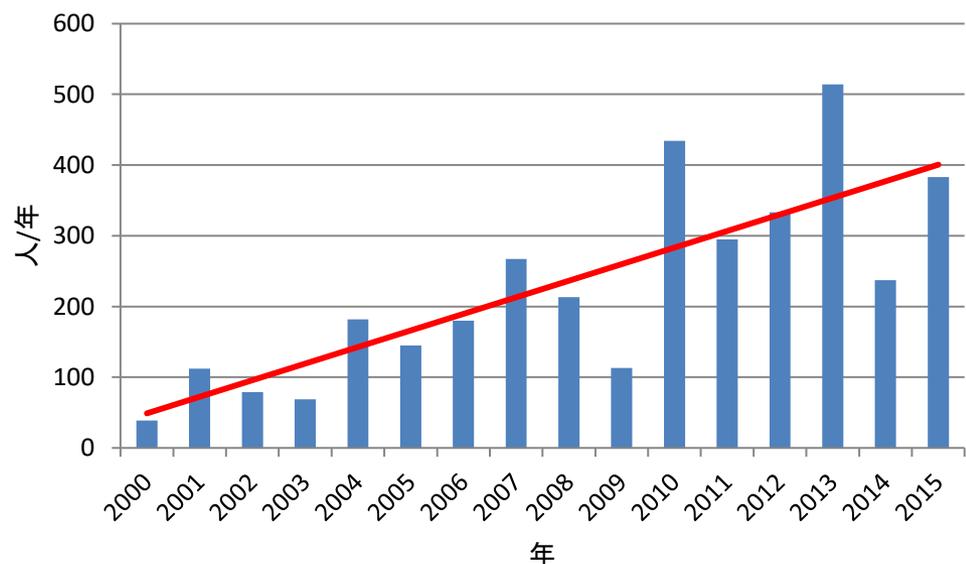
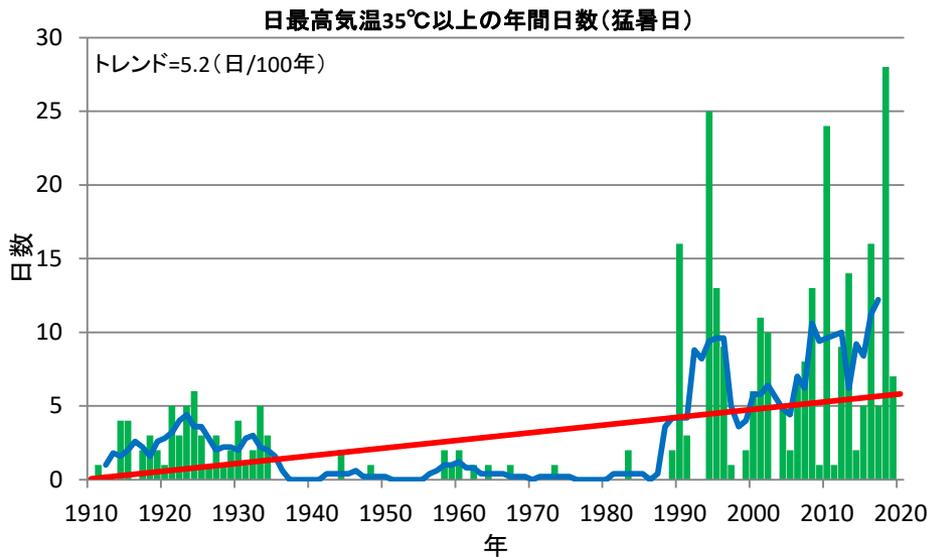
(出典: 広島県公共用水域調査結果)

図 広島湾の海水温(左図)と太田川(戸坂上水道取水口)の水温(右図)水位

広島湾の水温は10年あたり 0.128°C のペースで上昇傾向。
これは日本の平均海面水温の上昇率($+1.12^{\circ}\text{C}/100\text{年}$)よりも高い値

太田川の水温は増加傾向であり、水温は10年あたり 0.31°C のペース
で上昇している

広島市の猛暑日と熱中症患者数



(出典: 気象庁HP気象統計資料より作成)
(出典: 熱中症患者速報平成27年報告書, 国立環境研究所)

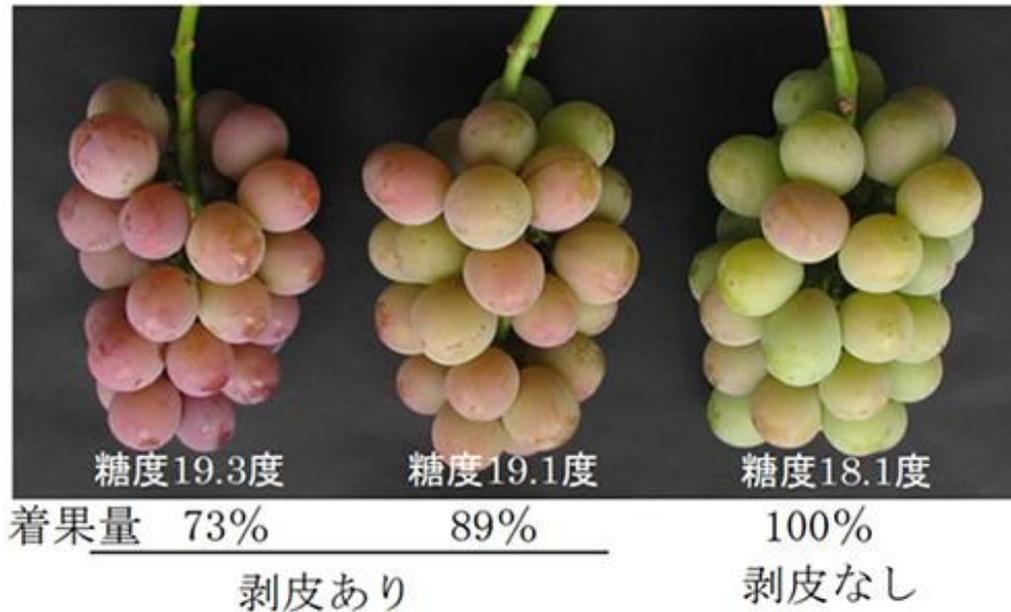
図 広島市の猛暑日(左図)と熱中症患者数(右図)の推移

広島市の猛暑日は平均気温が顕著に上昇した1980年代後半から、出現日数が増加

広島市内で救急搬送された熱中症患者数は、約230人/10年のペースで増加

熱中症患者数は日最高気温が29°C程度から増加傾向が見られ、31°C~32°Cを超えると急激に増加する

広島県の適応策事例



(出典: 広島県立総合技術研究所農業技術センター)

図 着果量の軽減と環状剥皮の効果

気温の上昇によりブドウの着色不良が起きやすい

広島県農業技術センターでは、
温暖地ブドウの着色を向上させる技術を開発

トップページ > ひろしま気候変動適応センター

広島県

ひろしま気候変動適応センター

広島県内の気候変動や適応策に関する情報を発信します！

印刷用ページを表示する 掲載日：2021年4月3日

新着情報

① ひろしま気候変動適応センターについて (2021年4月1日)

ひろしま気候変動適応センターは、地域における気候変動影響や適応に関する情報を収集、整理、分析し、県内の皆様提供します。

掲載情報

センターについて お知らせ・案内

気候変動に関する情報 適応策に関する情報

※「お知らせ・案内」、「気候変動に関する情報」、「適応策に関する情報」については、準備中です。

気候変動適応センターホームページで随時情報を発信予定
 (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou/>)

気候変動に関する研究、データ等で、公開可能なものがありましたら、ホームページで紹介させていただきたいと考えています